日本鐵鋼協會記事

◎編輯會

大正十二年八月二十九日(水曜日)午後五時より本會事務所に於て編輯會を開き會誌第九年第九號の原稿を選定せり。當日出席者は、俵國一、河村驍、室井嘉治馬、川上義弘、杉村伊兵衛、山本貞次郎、鹽澤正一氏等なり。

◎評議員會

大正十二年十月三日(水曜日)午後三時より東京驛前日本工業倶樂部第四階鑛山懇話會内に於て評議員會を開き今回本會類燒に就き是が善後策に關して左の如く議決せり。

會議事項

一、報告

イ、本會震災遭難情況　(別記の通り)

ロ、本會損失見積高　(別記の通り)

ハ、本會々計報告　(別記の通り)

ニ、九月十日本會罹災報告を罹災通信として郵稅先拂にて會員に通知せり右は當時「ハガキ」も切手も購入不自由に付斯く計らひたり。

ホ、本日の評議員會には編輯事務もあることに付便宜上編輯委員にも出席を煩はせり。

ヘ、京濱並に湘南地方に於て本會々員の罹災者數約三百名(推定)之等の遭難狀況は目下紹介中なり。

ト、工學會評議員會に就ての報告(別紙の通り)

一、事務所移轉の件

本會事務所は東京市麴町區永樂町二丁目一番地日本工業倶樂部第四階鑛山懇話會内に移轉することに決定せり。

一、會誌發行の件

本會々誌「鐵と鋼」は十月號より發行することゝせり、但し印刷所三秀舍も類燒して印刷不充分に付此際一兩月間は二三十頁の小冊子のものを發行することゝせり。

一、本會燒跡處理の件

本會燒跡に付ては借地繼續を申込み置くことに決定せり。

一、岡澤書記解職の件

此際經費節減の爲め岡澤書記を解職することに決定せり。

一、野呂理事逝去に付きての件

本年九月八日本會理事野呂景義氏逝去せられたるに付左の如く決議す。

イ、葬儀の際供物及香典贈呈に付きては理事に一任のことに決定す。

ロ、野呂理事の後任選擧に付きては次回の評議員會迄延期することに決定す。

ハ、工學會に對する本會代表者野呂氏の後任に付きては俵會長選任せられたり。

一、登記事項の件

事務所移轉並に野呂理事死亡の件に付ては登記することゝせり。

一、其他會務に關する件

當日出席者は左の如し。

俵　國一　香村　小錄　今泉嘉一郎　塩田　泰介
原田　鎭治　服部　漸　日向　庄作　井上匡四郎
門野重九郎　吉川　雄輔　種子田右八郎　桂　辨三
加茂　正雄　江藤　捨三　水谷　叔彥　松浦　善助
川上　義弘　田中　清治　鹽澤　正一　行方畝三郎
室井嘉治馬　河村　曉

◎日本鐵鋼協會震火災遭難情況

一、震　災

大正十二年九月一日(土曜日)此日曇天、午前十一時五十八分俄然大地震勃發し本會建築物は左記の如き損害を被れり。

イ、土藏　土藏は大龜裂を生じて傾斜し殆んど轉倒せん計りの狀態にありて最早土藏内に入ること能はざりき。

ロ、本館　本館に於ては二階事務室の西側にありたる大書棚轉倒し折柄執務中の事務員は危く其の難を免れたり。内外の壁土、コンクリート並に窓ガラス等の破片墜落し屋内に於ては階段を埋めて昇降の自由を缺き、玄關は之等の破片雨霰の如く落下して殆んど出口を封鎖せられたり。

第一階の諸室は何れも損害甚しかりき。即ち事務員の居間は天井墜落したるも幸ひ何人も其室に居らざりき。其の前面の試驗室は大壓搾機轉倒せし爲め側にありたる藥品陳列臺を壓倒したるを以て白煙濛々室内に充滿し全く火災を惹起せしものと思はしめたり。土藏前の室は土藏の崩壞せる土砂を以て全室埋まれり、其の前面の事務室はドーア緊張して開扉すること能はざりき。

是に於て類燒の厄に遭はずとも此大震災の爲めに土藏は全く使用に耐えざるものとなり、本館も内外の壁土殆んど剝落したるを以て大修理を要せしことなるべし。

二、火　災

火災に就て本會は全く安全地帶と思惟せられたるに當日午後九時頃に至り形勢漸く不利となり遂に三方より包圍せられ午後十時本會建物は遺憾乍ら全部類燒せり。

是より先き事務員板垣氏は危險を冒して家屋内に立ち入り重要書類を取り出し協會前の廣場に避難せしも遂には同處も亦危險なるを知り持ち得る丈の書類を携へ他は比較的安全なる場所を選びて殘置せしも不幸にして其全部を燒失せり。

幸に人員に傷害なかりしが何れも危機一髮の間を潛り拔けたり。

金庫は無事なりき。

當日取り出したる書類左の如し。

出納簿	一冊
仕譯帳	一冊
當座預金入金帳	一冊
十五銀行差引殘高帳	一冊
雜誌交換寄贈賣却者氏名簿	一冊
振替貯金受拂通知綴	一冊
十五銀行預金通帳	一冊
火災保險證書	二葉
各事務員所屬名簿	三冊
公債證書預證書	一葉

以上

日本鐵鋼協會燒失財産見積高

家屋及土藏	三二、〇〇〇、〇〇〇円
什器	二、五九五、〇〇〇
圖書	二、〇二一、〇九
其他雜	五、〇〇〇、〇〇〇
合計	四一、六一六、〇九
外に	
落合鐵鋼試驗所損害高	七、〇〇〇、〇〇〇

日本鐵鋼協會會計報告

銀行預金	一九、三六二、九五円
振替貯金	一、四八八、九〇
北海道拓殖銀行債券	六、〇〇〇、〇〇〇
會誌發行擔保	九〇七、〇〇〇
振替貯金基本	一〇、〇〇〇
約束郵便擔保	二〇、〇〇〇
火災保險金額	三三、〇〇〇、〇〇〇
現金	一、九三
合計	六〇、七九〇、七八

◎理事會

大正十二年十月十日(水曜日)午後三時より本會事務所に於て理事會を開き左の事項に就き協議せり。

一、燒跡に「バラック」建設の件
一、野呂氏葬儀の件
一、退會の件
一、其他會務に關する件

當日出席者は 俵國一、香村小錄、鹽田泰介、河村曉氏等なり。

◎編輯會

大正十二年十月十日午後三時より本會事務所に於て編輯會を開き會誌第九年第十號の原稿を選定せり、當日出席者は川上義弘、室井嘉治馬、田中清治、鹽澤正一氏等なり。

◎金屬研究所本多博士講演錄購讀申込者に急告

今般工學會より左の照會ありたり。

前畧金屬研究所本多光太郎博士以下の講演錄は愈々本月より組版に着手致す運びと相成り候然るに同講演錄購讀申込者名簿全部工學會の燒失と共に燒失致し候此際乍恐縮最近御發行の貴誌上に此旨御記載被成下再申込書を左記へ本年十二月十五日限送達相成樣御取計ひ被下度奉懇願候尙實價は未詳に付右申込書取纏の上各申込者へ通知可致候敬具

東京市麴町區九ノ内仲通十三號の四
曾根中條建築事務所内
工學會假事務所

◎退會者(住所及職業)

前記役員會に於て退會を承認せられたる會員左の如し。

神戸市三菱神戸造船所　正員　深尾淳二
島根縣飯石郡吉田村製、鋼業　同　菅野半三郎

故工學博士野呂景義君の葬儀

故本會理事野呂景義君は昨年三月以來病氣療養中なりしが其効なく去九月八日終に逝去せられたり。葬儀は來る十一月十六日午後二時下谷區谷中上三崎南町瑞輪寺に於て執行せらる。

◎轉居

前號報告後轉居者の新住所左の如し。

神戸市長田町二丁目十一ノ二　谷山巖
赤坂區青山南町六ノ一〇五、有馬方　石橋毅
市外大久保百人町三九三　小河原藤吉
府下南葛飾郡隅田村大字隅田一二一一　高橋章藏
本郷區東京帝國大學工學部冶金科　岡利喜雄
大阪市西區市岡町二九三ノ二九　大坪嘉盛
大阪市西區島屋町汽車製造會社　太田三吉
千葉縣市川町市川三五二　中村興麿
市外上目黑一九　森谷吾平
麴町區有樂町三ノ二、三井集會所内三井物産會社金物部　黑田靖之助

◎罹災會員情況

今回の大震火災に際し本會々員中にて罹災せられたる者の情況左の如し。

氏名	罹災情況	現住所
今井勝次	全燒	千葉縣市川町五ノ一九六二、齋藤方
石黑利吉	全燒	本郷區菊坂七〇、谷田方
石渡清之助	全燒	市外西巢鴨堀ノ内九八二、森田方
濱田彪	家屋數ヶ所崩壞八才の御孫女壓死	麴町區富士見町二ノ三九
堀江吉光	全燒	淺草區今戸町三〇、青木方
東京製綱會社	全燒	深川區東大工町四八
東京綱材會社	一部倒潰	府下南葛飾郡大島町六ノ五〇
東洋製鐵會社	全燒	丸ノ内久原ビルデンヂ内
富田基	全燒	深川區西元町一〇、舊倉庫内
大橋新太郎	全燒	本郷區弓町一ノ一六
河合半兵衛	全燒	日本橋區本銀町一ノ四
川北商店調査部	全燒	日本橋區青物町一九
川澤政吉	全燒	麻布區簞笥町二三、錦織方
金子與四郎	全燒	牛込區矢來町一四、池島方
吉田長三郎	全燒、一物も出し得ず	芝區三田一ノ四五、田中方
田中鑛山會社	京橋本邸、本社事務所並深川鐵置場全燒	芝區三田一ノ四五
高村國策	全燒	本郷區東竹町七
大藤良雄	全燒、何物も出さず	日本橋區箱崎町四ノ一、倉庫跡
行方畝三郎	住宅及工場全燒	芝區烏森町四、舊本協會跡
成瀨澄三郎	全燒、殊に貴重の書籍、二年前より執筆の論文燒失	小石川區大塚坂下町一二二
室井嘉治馬	家屋大破損	赤坂區青山北町六ノ四七
野村宅藏	家屋半倒壞	小石川區大塚窪町十二
黑板傳作	工場全燒	横濱市子安町三三四九
熊谷卯之助	震害輕微	京橋區金六町五
安井健次郎	營業所及倉庫全燒	麴町區内幸町一ノ五
松方五郎	全燒	

福元清藏	全燒、家族共命から〈避難す	府下豐多摩郡杉並村字天沼一二一
藤岡淨吉	被害輕少	芝區三田綱町三井別邸內三井鑛山會社內
小長井潔	事務所全燒	赤坂區青山南町五ノ八一
佐藤俊一	全燒	本郷區駒込曙町九、佐藤方
佐藤秀松	全燒	芝區琴平町二
三井物產會社金物部	全燒	麹町區有樂町三ノ二、三井集會所內
島岡亮太郎	家屋一部崩壞	相州鎌倉町大町一一六二
廣田理太郎	煙突落下大損害、廣田博士御微傷、茶室及庭木燒失、家屋無難	麹町區下二番町一
杉村伊兵衛	全燒、論文及原稿安全	芝區白金今里八九
齋藤省三	全燒	丸ノ內東京驛前丸ビル、六階
瀧澤七郎	全燒	千葉縣市川町新田、木村方
ガデリウス商會	全燒	麻布區仲ノ町三、トリードソン方
堀尙靖	家屋全潰	相州浦賀町海事部出張所
谷山榮介	家屋全潰、母堂壓死	相州逗子町山野根四一三
新潟鐵工所	本社、月島工場全燒蒲田工場一部破損	丸ノ內仲通三菱十二號館五號
大倉組	全燒	京橋區銀座二ノ七
河合綱商店	店舗倉庫燒失、在庫品異狀なし	日本橋區本石町四丁目
永野紋三郎	事務所及出張所全燒	橫濱市外鶴見町生麥四七
中道忠夫	家屋全潰	京橋區月島石川島造船所內海軍監督官事務所
柴岡喜一郎	家屋全潰	橫須賀市深田一〇
大竹太郎	全燒	府下砂町八右工門三六〇

本會評議員八幡製鐵所技監工學博士葛藏治君は大正十二年八月二十三日逝去せらる誠に哀悼の至りなり

本會評議員九州大學教授工學博士渡邊芳太郎君は大正十二年九月二十三日逝去せらる誠に哀悼の至りなり

本會正會員杉本喜市君は本年九月、同今田時太郎君は十月死亡せらる誠に哀悼の至りなり